



77年前の夏に思いを馳せて（7月5日 碑前祭）

「廿小の悲しい歴史を知ってください。校舎が、焼けただけ傷ついた悲しい人々の病院になることが2度とあってはなりません。大やなぎの下の『平和の碑』に手を合わせながら、みんなが平和のために何ができるか考えましょう。何もしないで平和は続かないのです。」

これは、先日行われた碑前祭で、講師として来られた青木健夫元校長先生の言葉です。

学校の校庭には『平和の碑』があり、その『平和の碑』や学校の「大やなぎ」の歴史、77年前の夏に起きた忘れてはいけない出来事について、青木先生にお話をさせていただきました。子どもたちは、みんな真剣に話を聞いていました。

碑前祭に先立って、児童委員会の呼びかけにより、児童一人ひとりが折り紙に平和への願いを書き、鶴を折りました。そして、その折り鶴を使って児童委員がパネルや千羽鶴に仕上げ、雨の上がった日に、『平和の碑』に供えました。



「碑前祭」後の感想を紹介します

・おはなしをきいてかなしかったです。こわかったです。

・いどとせんそうはしたくないです。 (1年)

むかしはかなしいところだったけど、たのしいところになりたいです。ひとりひとりがけんかをせずに楽しいせかいにしたいです。 (2年)

大やなぎの木は、ぜんぶしっているんですね。すごいです。だから大やなぎをかれないようにしたいです。 (3年)

やなぎの木がいろいろなものを見てきたことがわかりました。今のこのしあわせを大切にしたいと思いました。これからせんそうのないせかいにしたいです。 (4年)

毎年聞いているが、たくさんの人がなくなったことを悲しく思います。もうこんな悲しい出来事を起こらせてはいけなかったと思います。何もせずに平和は続かないことを忘れないようにしていきたいです。 (5年)

青木先生が話されたように、この学校が病院になったりけが人でいっぱいになったりすることが二度とないようにしたいです。今の廿日市小学校のように安心して勉強でき、たくさん遊べるという平和が何年先もずっと続いてほしいです。 (6年)

「犯罪防止教室」を行いました



今週、各クラスで「犯罪防止教室」を行いました。廿日市警察生活安全課少年係の署員さんと連携しながら、万引き防止などについて学習しました。

「万引きは犯罪であり絶対にやってはいけないこと」「たった1回でも、10円の物でも盗んだら犯罪であること」「万引きをしたら、お店の方を始め多くの方が被害を受けるだけでなく、お家の方を大変悲しませること」や、「犯罪を犯すと自分の心が傷つくこと」などを学びました。

ひろしまマイ・タイムラインの作成にご協力をお願いします

4年前に広島県では大雨による大きな災害が起きました。

広島県は土砂災害が起きやすい地形であり、「いつ？ 自分や家族のだれが？ どのような準備や行動をするか？」を決めておくことが重要です。その手引きとなる「ひろしま マイ・タイムライン」を、1年生・4年生に配布しております。また他学年でも、昨年度つくったマイタイムラインの見直しをお願いします。

マイ・タイムラインシートを使って、緊急時の家族の行動について話し合い、確認してください。どうぞよろしくをお願いします。

保護者の皆様へのお願い

- (1) 21日(木)から、夏休みが始まります。子どもたちには、「**夏休みのくらし**」を配付して指導しますが、ルールを守り、有意義な夏休みが過ごせますよう、ご家庭でも声かけをお願いします。
- (2) 学校のきまりに「**携帯電話やパソコンなどによるインターネット(通信ゲームも)を使うときには、保護者と一緒に家庭におけるルールをつくり、他の人の悪口や個人情報を書きこむことは絶対しません**」「**子どもどうしのメールやSNSなどのやりとりはやめます**」とあります。
スマホや通信ゲーム等を使わせる場合は、ご家庭でのルールをつくり、保護者の方が管理されるようお願いします。

もうすぐ1学期が終了します。コロナ禍でまだまだ制限が多い日々でしたが、子ども達は、自分たちで楽しさを見つけ、明るく元気によくがんばりました。友だちとけんかした日や学校に行きたくない日もきっとあったことでしょう。そんな中、子どもたちの前向きな努力と保護者のみなさまの温かい言葉がけにより、無事1学期を終えようとしています。ありがとうございます。

夏休み中、何かご心配なことがありましたら、学校にご連絡ください。

2学期に元気な子ども達と出会うことを楽しみにしております。

